



ゲノム編集食品 消費者の受け止め方

2020年12月、筑波大学でゲノム編集技術を使って開発されたGABAというアミノ酸を多く含むトマトの届出が、厚生労働省に承認されました。このトマトは自然突然変異でつくられたのかゲノム編集技術でつくられたのかの区別ができないことから届出を行うことで市場にだすことが認められたのです。日本では初めてゲノム編集食品ということでのどのように消費者に受容されるだろうかと注目されていましたが、GABAトマトを扱うサナテックシード社は、栽培モニターを募集し、無料で配布した苗を栽培し情報を共有するライングループをつくと発表しました。新しい作物の、大変に興味深いプロモーションと言えるでしょう。今回は、遺伝子組換え作物・食品をめぐるリスクコミュニケーションを比較しながら、ゲノム編集食品との付き合い方を考えてみましょう。どうぞ気軽にご参加下さい。開演まで音楽演奏をお楽しみください。

講演者 SPEAKER

佐々 義子 先生
(さっさ よしこ)



特定非営利活動法人くらしとバイオプラザ21 常務理事
博士（生物科学）
神奈川工科大学 客員教授
日本科学技術ジャーナリスト会議 理事 他
専門分野 バイオテクノロジーを中心とした
サイエンスコミュニケーション

2021 2.26 金

zoom によるオンラインセミナーです

入室開始 17:45
開催時間 18:00 - 19:45



音楽演奏があります♪

Sketchbook (スケッチブック)

夫婦で演奏活動しています♪



ギター：西村 俊哉 (にしむら としや)
音楽教室で講師を務める傍ら、精力的に演奏活動を行い、バンドサポート施設訪問演奏、子供向けライブ開催など、地域貢献にも尽力している。

フルート：西村 いづみ (にしむら いづみ)
フリーの奏者として演奏活動をする他、作・編曲、楽譜出版などの創作活動も行っている。

お申込み

参加費：無料です。
お申込はこちらのQRコードから



特定非営利活動法人「くらしとバイオプラザ21」とは？

代表：大島美恵子（東北公益文科大学名誉教授）

副代表：正木春彦（東京大学名誉教授）

くらしとバイオプラザ21 (<http://www.life-bio.or.jp/>) は、「くらしとバイオ」の視点でバイオテクノロジーに関する情報をわかりやすく提供し、対話の場創りをしています。

茅場町を中心に全国各地でバイオカフェを330回以上開催。東京テクニカルカレッジ（TTC）は実験教室などに協力、同法人の佐々義子常務理事はTTCのカリキュラム検討委員として、連携して活動しております。

